

やさかだより9 No. 80

八坂地域づくり協議会 <https://www.shinshu-yasaka.com> 2020年(令和2年9月1日)



野平ラベンダー園にて(関連記事: 4頁)

ラベンダーの優しい香りに包まれて

9月号の記事

地域づくり協議会から	…2~3
八坂地区敬老会実行委員会から	……3
地区の活動から	……4
たけのこ保育園・小学校から	……5
中学校・コミュニティースクールから	……6
山留の風・八坂公民館から	……7
きらり話題の八坂人	……8



今年の夏も暑かった!! 花壇の花もぐったり。
大滝花壇でも水くれに精を出しています。
(関連記事: 4頁)

八坂地区の人口: 791人
(男392人・女399人 高齢化率35.4%)
八坂地区の世帯: 358世帯
(令和2年8月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

	区 分	内 容 等
7/5	ビューポイント整備活動	・さざなみ周辺の草刈り、立木の枝切り
7/16	第 1 回八坂地域づくり委員会 やさかだより編集委員会	・八坂地域振興バスの運行経路について ・9月号やさかだよりについて
7/22	地域支え合い体制づくり会議	・八坂地区災害時支え合いマップの更新について ・地域支え合い体制づくりについて
7/28	中部電力への陳情活動	・災害時の電力供給についての陳情
	第 2 回八坂地域づくり協議会	・八坂駐在所連絡会議 ・明野地区太陽光発電事業について ・令和 2 年度の要望書について
	第 2 回地域振興部会	・やさかボランティア隊申し込み状況について
8/11	明野地区太陽光発電事業現地調査	・地域づくり協議会役員による太陽光発電事業の現地調査
	明野地区太陽光発電事業に関する地元説明会	・太陽光発電事業に関する地元説明会
	第 3 回地域振興部会	・やさかボランティア隊設立総会について
8/25	第 2 回自治振興会長会議	・要望書について

災害時の電力供給についての陳情活動

今年3月の降雪や土砂災害による倒木が原因で、長時間に及び停電が発生したことから、7月28日（火）、正副会長が中部電力パワーグリッド株式会社大町サービスステーションに災害時の電力供給についての陳情活動を行いました。

中部電力からは、今後も電気の安定した供給と災害時の停電が長時間にならないために、送電ルートや停電時の対応等を検討していきたい内容の話がありました。



倉沢所長に北澤会長から要望書が手渡されました

八坂ビューポイント整備 ～さざなみ周辺整備～

7月5日（日）さざなみ周辺の草刈りと枝払いを行いました。当日は、地元舟場地区の方を中心に八坂地区全域から30名ほどのボランティアが集まり、汗を流しました。国道19号線からも、さざなみの建物が見えるように、しっかり枝払いを行いました。刈った草や枝を運搬する際には軽トラを出していただきとても助かりました。

作業後には、北澤豊繁さんからたけのこ汁のふるまいがあり、ご馳走になりました。ありがとうございます。



ボランティアのみなさんのおかげで さざなみ周辺はすっきりしました

明野地区太陽光発電事業に関する地元説明会

8月11日（火）、明野地区に建設を計画している太陽光発電事業に関する地元説明会を開催しました。説明会には地域住民の他に、県林務課職員、市関係部署の職員も同席をし、発電事業者である株式会社藤巻建設より今後の太陽光発電施設建設計画について説明を受けました。

参加者からは、施設の建設に関する質問や、完成後の発電施設や周辺環境の維持管理について要望が出されました。

また、同日、令和2年3月から発電事業を開始している明野事業地において、県、市、地域づくり協議会、発電事業者の4者で締結をした協定書に基づき、現地踏査を行いました。地域づくり協議会からも役員6名が出席し、発電設備の状況や排水施設等が協定書のとおり適切に維持管理されているか確認し、気が付いたことや要望等を施設の維持管理を行っている業者に伝えました。



八坂地区敬老会

祝宴行事の中止のお知らせ

本年度の「八坂地区敬老会」の開催は、9月17日（木）に予定していました。

開催に向けて、実行委員会を組織し準備を進めていましたが、市内においても新型コロナウイルス感染者が確認されるなど、未だ終息には至らない状況です。

実行委員会では、市のイベント開催基準や外食産業等のガイドラインを基準に検討を行いましたが、完全な感染防止のための対応が困難なことから、誠に残念ですが、本年度の敬老会の祝宴行事を中止することと決定いたしました。

来年度、新型コロナウイルス感染症が終息し、皆様の安全を確保できれば、盛大に開催する予定ですのでご理解をお願いいたします。

なお、敬老会にご招待する予定でありました皆様には、賀寿の方のお名前等を掲載した冊子と記念品をお贈りする予定としていますので、しばらくお待ちください。

八坂地区敬老会実行委員長 鳥屋 隆一

大滝花壇の花植えと防災訓練

6月28日(日)、恒例となりました大滝花壇の花植えと花壇周辺の草刈りなどの整備作業と基幹センター周囲の草刈り、併せて、自主防災会活動で地区内の消火設備の点検と草刈りなどを行いました。

あいにくの雨降りとなりましたが、早朝より大勢の方が参加して、花植えに、花壇周辺の草刈りに、消火設備の点検にと、それぞれ分かれて二時間ほど作業に汗を流しました。



天候が良くない中での整備作業や防災訓練、おつかれさまでした

作業終了後は、消火器と消火栓の使い方について学びました。例年同様、市消防団第5分団第1部に指導をお願いしたところ、降旗部長以下6名の団員の方々が来てくださり、水消火器を使った消火訓練と、消火栓にホースを接続しての放水訓練を行いました。



参加者のほとんどは、消防団OBなので、昔取った杵柄とばかりに、ホース展張や接続などはスムーズにこなしていました。

お休みのところ訓練指導にあたっていただきました消防団の皆さん、ありがとうございます。

日中、火災などが起きた時、重要となる初期消火にあたるのは、地元に残っている住民となるので、定期的にこのような訓練を行うことはとても大事なことだと思います。

石原地区編集委員 松下憲夫



**清々しい香りを摘み取って
～野平ラベンダー園～**

今年の新型「コロナ」ウィルス感染症拡大防止のため、ラベンダーまつりは中止となりまして、ラベンダー園の整備はいつものように行い、いつも以上に行事

に咲きました。

6月29日(月)は、たけのこ保育園の皆さんがラベンダー園を訪れ、老人クラブの皆さんと共に花摘みを行い、楽しいひと時を楽しみ、その2日後の7月1日(水)と2日(木)には「みさか」の皆さんが訪れラベンダーの香りや花盛りの景色を満喫しました。

また今年、コロナウィルス対応で頑張っておられる大町病院へも、大町病院サポーターの会長である降旗剛さんを通じてラベンダーの花を届けていただき、癒されたとお声を頂戴しました。

ラベンダーまつりの中止は残念だという声を数々お聞きし、電話での問い合わせも多くいただきました。自分達の思っている以上に多くの方に楽しみにしていただいているイベントなのだと思改めて感じています。



野平地区編集委員 丸山郁夫

今年には地区の皆さんにいつものように会えない方などに摘み取った花をお届けするように呼びかけました。中には近所の高齢の方に楽しんでいただきたいと車で連れて行って下さった方もあると聞きました。

野平の多くの方の協力でもラベンダーが美しく咲きました。来年はどんな状況になるかわかりませんが、ぜひラベンダーを楽しんでいただきたいと思います。

たけのこ保育園

7月21日、たけのこ保育園では恒例のボディペインティング！を行いました。

夏の風物詩・・・全身に糊絵の具（体に害のない絵の具です）で彩り豊かに描かれ・・・どの子が誰か分かりますか？

先生たちも大奮闘でした。大笑いしながら、体中にペイントをして楽しみました。

元気一杯、今しかできない遊びをたくさん経験しています。



おとなりのきみは だれ？ 頭からつま先まで カラフル！

八坂小学校

イワナの体の中は？ ～6生生理科・総合学習～

6年生は、美麻岩魚倶楽部・美麻地域学校協働コーディネーターの前川浩一さんを講師に招き、理科の授業でイワナの解剖を行い、魚の体のつくりを学習しました。

そのあとは、総合的な学習の時間で炭火を使ってのイワナの塩焼き作りを行いました。前川さんから、魚のお腹をさばかずに内臓を取り出す「つぼ抜き」という方法も教えていただき、子どもたちも悪戦苦闘しながら体験をしました。

炭火焼きでは、学校支援ボランティアの北澤三恵子さんにご協力いただき、八坂小の自慢の「いろいろの部屋」のいろいろで、イワナを炭火焼きにして味わいました。

いろいろな方々にご支援をいただきながら、八坂小オリジナルの学習を行うことができました。



見事な包丁さばきを見つめる6年生

いつもありがとうございます。

～読み聞かせ&清掃ボランティア～

本年度は臨時休業のため、お話カリヨンの皆さんの読み聞かせは、5月26日が初回となりましたが、今年も10名以上のボランティアの皆さんにご協力をいただき、子どもたちが楽しみにしている読み聞かせを続けることができています。

読み聞かせボランティアの一員である渡辺恵子さんには、1学期末大掃除にあわせて清掃ボランティアもしていただきました。人数が少なく子どもたちだけでは清掃が行き届かない本校では、お一人でも皆様にご協力をいただくと大変助かります。

今後も皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



今日はどんなお話かな？ いつも楽しみ！

八坂中学校 いざ!という時のために ~非常食体験~

7月20日(月)、八坂中学校では初めての非常食体験をしました。白馬村、小谷村では平成26年の神城断層地震を忘れないように数年一度、非常食給食を実施しています。このことを参考に市の消防防災課から非常食を分けていただき実施しました。水をそそぐだけで食べられるアルファ化米の五目ご飯と、カセットコンロでお湯を沸かし味噌汁をいただきました。

地震だけでなく水害も毎年のように起きています。いざという時に慌てないように、日頃の備えをしっかりとしたいと思います。



食べた感想は?

作っている時は、水を入れるだけで米が本当にふくらむのか不思議でした。作ったものを見てみると、ふっくらしておいしそうでした。食べると味もおいしくて結構すぐに食べられました。

災害に関することをたくさん学びました。ぼくはこういう日もいつもと違っていい体験だと思いました。八坂は災害が多いだけにこういう体験も必要だと思いました。

八坂で非常食を食べるくらい大きな災害も無かったので、とっても貴重な体験をしました。今回は水を入れて五目ごはんを食べたけど、やっぱり温かいのが好きだと感じたし、日頃の食事のありがたさを改めて感じることができました。

アルファ化米とは・・・

炊飯直後に熱風で急速に乾燥させることにより、デンプンはアルファ化の状態を保ちます。また、乾燥することで水分が少なくなり腐りにくい状態になっており、常温で長期保存が可能です。

山留の風

育てる会 TEL:26-2306 HP:www.sodateru.or.jp

小学生キャンプ

7月4日(土)~5(日) 天気:雨
週末、小学生14名でナラの森キャンプ場(いこいの館)へ行き、ソロキャンプに挑戦しました。梅雨の時期で雨が降っていましたが、カッパを着ていざ出発!

キャンプ場に着くと、子どもたちそれぞれが自分1人での火おこし・飯盒炊爨に挑戦しました。目標は、その日の夕食になる豚丼のご飯を炊くこと。かまどは周りの木や石で工夫して作り、薪も自分で集めました。前日も雨だったため、枝も濡れてしまっている悪条件。内側が乾いている枝を探したり、集めた薪に袋を被せておいたり工夫しながら、何度も何度も火起こしに挑みました。



自分でご飯を炊けたのは、ほんの数名でしたが、できた人は得意顔。残念ながらギブアップしてしまった子は悔しそうでしたが、もらった豚丼を食べながら、「美味しい!」「外で食べるのは最高だね」と笑顔でした。2~3人ごとにテントを立て、その日は雨の音を聞きながらキャンプ場に泊。

2日目も、「よく眠れたよ」と元気よくスタートしました。朝ごはんの後、テントやかまどの後片付け、ゴミ拾いをしてキャンプ場を綺麗にし、センターへ帰りました。「難しかったけど、面白かった」「次は絶対火起こし成功させる!」と次への意欲も大いに膨らむ2日間になりました。



竹工作クラブ

今年度、小学校には手芸クラブ、スポーツクラブ、竹工作クラブの3つのクラブ活動があります。今回は、6年生4名所属の『竹工作クラブ』の紹介をします。

講師は、北澤豊繁さん（横瀬在住）です。基本からしっかり教えてくださり、子どもたちの戸惑う姿をみつけては、優しく声をかけ、教えて下さり、子どもたちは、安心して作業に取り組んでいます。刃物も器用に使用しています。子どもたちの楽しみ計画のひとつ、『流しそうめん』の実現に向けて、おはしや器等、子どもたち独自のアイデアを組み込んでオリジナル作品を作成しました。流しそうめんの話をすると、笑顔満開な子どもたちの姿にたくましさを感じました！



そば学習～そば蒔き～

中学校の伝統学習のひとつに『そば学習』があります。子どもたちが、種を蒔き、刈り取りや脱穀、そば打ちまでの一過程を行います。例年、相川唐花見にある仁科克彦さん（切久保在住）の畑をお借りし、そばの栽培をしていますが、唐花見には、中々、足を運ぶことが出来ないため、今年は学校の畑でもそばを栽培することにしました。当初は、「ばら蒔き」で考えていましたが、勝野健一さん（学校支援コーディネーター）の助言指導もいただき、「筋蒔き」で行うことにしました。畑の管理を仁科利夫さん（切久保在住）にご協力いただいています。毎年、たくさんの地域の方々に協力いただき、子どもたちは、貴重な体験をさせていただいています。

感謝の気持ちを大切に、そばの成長と共に子どもたちは心の成長をとげています。



地域文化伝承事業「八坂塾」 こけ玉づくり講習会

7月16日（木）、こけ玉づくり講習会を開催しました。

講習会には14人が参加され、野平の小浪和正さんの説明を聞きながら、身近に生えている草木を使って、小さく可愛らしい物からソフトボール大の大きな物までバリエーションに富んだコケ玉を作ることができました。

初めてこけ玉を作った参加者も多く、これからの水くれや管理を通じてこけ玉のファンが増えそうです。



好きな草木を植えて こけ玉完成！

おののりたか わかこ つばさ
小野 哲 孝さん 和歌子さん 翼 くん (矢下)



今年3月、定住促進住宅矢下団地に引越してこられた小野哲孝さん一家をご紹介します。

今年3月29日、大雪に歓迎されながら、荷物を積み込んだハイエースに乗り、家族3人で東京都葛飾区から、大田市八坂へ引越してまいりました。
数年前から自然が多い田舎に住みたいという強い思いがあり、昨年の10月に白馬に住む友達の家へ遊びに行った時、この素晴らしい景色の見える所に住もう！と決心しました。

それから移住相談に行ったり、友達に大町がいいよとアドバイスをもらい、今年1月に一泊二日で行われました大町市移住体験ツアーに参加しました。
そこで先輩移住者の方から色々とお話やアドバイスをいただきました。実際に大町に訪れてみて、素晴らしい景色や澄んだ空気、おいしい水、そして先輩移住者の方の人柄や雰囲気も良く、この大町をとてモ気に入りました。

その後、定住促進住宅の申請をしたところ、矢下の定住促進住宅に入れることになり、スピード引越となりました。子供が4月から小学校入学でしたのでタイミング良く移り住むことが出来て本当に嬉しかったです。



暮らし始めてからは、矢下の皆さんが、色々とお助け頂き、感謝の日々です。先日は、明日香荘で矢下集落の皆さんに私達家族の歓迎会を開いていただき、とても嬉しかったです。子供には、自然の中で日々五感を研ぎ澄まし、

生きるすべを学び、感性と想像力を育てたいと願っています。心も体も忍耐強く、大地にしっかりと根を張って空に向かって真つすく伸びてゆく大樹のように。
改めて、移住のアドバイスをくださった先輩移住者の方々、温かく迎えてくださった矢下集落の皆さんに御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。そして八坂の皆さま、これから私達家族をどうぞよろしく、お願い致します！



編集後記

夏の暑さも一段落し、八坂の里山にも実りの秋がやってきました。

私事ですが、今年度から八坂だよりの編集委員になり、初取材は矢下に移住されて来た小野さんご一家のお話を伺いに行きました。と言っても文章も写真も小野さんにお願ひして、私は世間話をして来ただけでした。矢下の皆さんにお世話になり、八坂に来て良かったと嬉しいお話をお聞き出来ました。ご協力ありがとうございました。今年には残念ながら中止や延期になった色々なイベントやお祭り、八坂夏祭りの打ち上げ花火を来年は見て頂きたいです。

新型コロナウイルスにより、私たちの日常は大きく変わってしまいました。暑期中のマスクは誰もが望むものではありません。早く終息して平穏な日常を取り戻したいものです。

収穫の秋。稲刈りやきのこと採りの時期です。美味しい山の幸を頂いて免疫力アップして今の状況乗り越えましょう。

大平地区編集委員

黒田知子